

(吉田町まちづくりステップアップ行政評価)

平成29年度 行政評価結果報告書

平成29年12月

静岡県吉田町

本資料の見方

1 資料の概要

本資料は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C (Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本資料における項目ごとの説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「平成28年度の予算事業」…平成28年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「平成30年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑤ 「判断理由」…「平成30年度の方向性」を選択した理由
 - ・ 「現状のまま継続」…現状のまま事業を継続する根拠
 - ・ 「見直しの上で実施」…事業の目的や手法が変更された経緯や工夫する点
 - ・ 「休止」…事業の実施を中断する理由、再開に向けての方向性
 - ・ 「廃止」…事業を廃止する理由
 - ・ 「終了」…事業が終了する年度
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

参考資料

○前期基本計画における章・分野

第1章	災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	1P
分野	地震・防災対策 治山治水対策 交通安全対策 くらし安全 消防・救急	

第2章	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	9P
分野	健康づくり 地域医療 地域福祉 社会保障 子育て支援 高齢者福祉 障害者福祉	

第3章	活力あふれる産業振興のまちづくり	21P
分野	農業 水産業 商工業 観光 新産業 企業誘致 雇用・就業対策	

第4章	魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	29P
分野	土地利用 住環境 公園・緑地・水辺 道路網 生活交通 コミュニティ 多文化共生 賑わいづくり	

第5章	次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	47P
分野	幼児教育 学校教育 地域教育 青少年健全育成 芸術文化・文化財 生涯学習 スポーツ・レクリエーション	

第6章	豊かな自然と共生するまちづくり	59P
分野	上水道 下水道・浄化槽・し尿処理 環境衛生 ごみ減量・リサイクル 地球温暖化防止対策	

第7章	行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	65P
分野	行財政 高度情報化 情報公開 広報・広聴 住民参画 男女共同参画 ユニバーサルデザイン	

参考資料

○「平成30年度の方向性」の集計結果は次のとおりです。

現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了	合計
138	80	66	0	5	289

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野1 地震・防災対策

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
1	災害救助事業	災害救助費	—	現状のまま継続	・引き続き、現状のまま事業の実施をする。	福祉課
2	災害復旧事業	農業水産施設災害復旧費	—	現状のまま継続	・災害発生時において、公共土木施設等が適正に操作できるよう、点検等を実施する。	建設課
		公共土木施設災害復旧費	—			
3	地震・防災対策事業	地震対策費	23,778	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・シーガーデン整備に活用する盛土材(工事建設発生土)を確保するため、民間を含めた各種機関の情報を収集し、工事経費節減及び事業進捗に努める。 ・シーガーデン整備の本格的な実施に向け、国及び県と調整し、事業推進を図る。 ・防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波防災対策を進める。 	防災課
		国民保護対策費	2			
4	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	5,151	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・防災公園(北オアシスパーク)を拠点に、積極的に防災意識向上事業及び防災教育事業を実施する。 ・引き続き、地域の防災リーダーとなる地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座を実施する。 	防災課
5	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	9,333	現状のまま継続	・平成29年1月4日から平成30年3月31日までの期間限定措置として、現行の助成額に県、町と併せて補助金の上乗せを実施したことにより、耐震化件数が増加したため、30年度以降も補助金の上乗せを検討する。	都市環境課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
6	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	30,743	休止	・海岸防潮堤との接続及び湯日川水門の整備方針等について、国及び県と調整を行う必要があり、事業実施時期等を含めて検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	産業課
7	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	11,678	現状のまま継続	・防災行政無線(同報系)のデジタル化整備について、計画的に事業進捗を図る。 ・災害時の円滑な対応を図るため、情報伝達機器の操作について職員に周知する。	防災課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野2 治山治水対策

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
8	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	10	見直しの上で実施	・水門建設のほか、大雨の影響による内水被害を軽減させるため、住吉地区において応急的な河川改修工事を実施する。	建設課
9	水防事業	水防費	855	現状のまま継続	・今後も、水害等の災害に備えるため、水防資材の補充及び点検を実施する。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
10	都市下水路事業	都市下水路費	100	現状のまま継続	・都市下水路としての機能や環境の改善を図るため、浚渫等の維持管理は必要であることから継続して事業を実施する。	建設課
11	大幡川等改修事業	大幡川改修事業費	—	現状のまま継続	・引き続き、大幡川水系の河川整備計画に沿った事業を実施する。	建設課
12	西の宮川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
13	前川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
14	高畑山通り排水路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
15	下西排水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
16	中川原排水路 改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
17	西の宮東排水路 改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
18	問屋川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
19	稲荷川改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
20	西川原間屋2号線水路改修事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
21	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	5,960	現状のまま継続	・引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。	建設課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野3 交通安全対策

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
22	交通安全推進事業	交通安全推進費	6,053	現状のまま継続	・高齢者事故をはじめ、町内で発生している交通事故の事故類型、事故原因及び事故発生箇所を踏まえ、交通安全広報・教室等を実施し、交通事故の減少を図る。	防災課
		交通指導員活動費	4,877			
23	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	4,942	現状のまま継続	・今後も区画線の損耗や老朽化による視認性の低下、主要幹線道路整備に伴う交通事情の変化等に対応するため、継続して事業を実施する。	建設課

第 1 章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野 4 くらし安全

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
24	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	9,772	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯教室」や「セーフティよしだ」等の事業を中心に実施し、犯罪件数の一層の減少を図る。 ・地域の実情を把握している各自治会に引き続き、防犯灯の整備業務を委託することにより、地域の防犯意識の向上を図るとともに、円滑かつ、効果的に維持管理できる体制づくりをする。 ・警察署、榛南防犯協会及び防犯推進団体と連携を図り、効率的、効果的に防犯対策事業を進める。 	防災課
25	消費生活啓発事業	消費生活費	205	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員を設置し、複雑・多様化する相談への対応、問題解決に取り組む。 ・民生委員、社会福祉協議会及び各学校と連携した高齢者・障害者・未成年者の見守りを実施する。 ・公共施設や町内イベント、団体の会合等に出向いて啓発活動を行う。 	産業課

第 1 章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野 5 消防・救急

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
26	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	4,936	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度の起債残高の償還を計画的に実行する。 	防災課
27	消防救急広域事業	消防救急広域事業費	232,748	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化によるスケールメリットを持続的に最大限に生かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す。 	防災課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
28	消防団運営事業	消防団運営費	18,644	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 消防団、まとい会、町内会及び行政が協力し新入団員確保に当たるとともに、消防団協力事業所表示制度を推進し、消防団員がより活動しやすい環境を整え、退団者を減少させることにより、消防団員の増員を図る。 引き続き、消防団の充実・強化を図ることにより、地域に密着した要員動員力と即時対応力の向上を図る。 各種災害に対応できるよう、訓練及び講習会を通じ、消防団員の技術及び知識の高揚を図る。 女性消防団員の視点を活かしたきめ細やかな運営を支援し、女性団員の活躍の場を広げるとともに、女性消防団員の新規入団者を確保する。 	防災課
29	消防団員福利厚生事業	消防団員福利厚生費	11,439	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生の充実を図る。 	防災課
30	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	8,974	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 災害への初動体制の強化を図るため、消防団員への装備品の充実及び消防水利の適切な維持管理を継続して実施する。 	防災課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 1 健 康 づ く り

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
31	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	9,145	現状のまま継続	・施設の適切な維持管理を行い、保健センター機能の維持及び改善を図る。	健康づくり課
32	健康づくり事業	健康づくり事業費	1,528	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館改修工事終了後、総合体育館で実施する若返り貯筋塾事業について検討する必要がある。 ・健康マイレージ事業では、より多くの者に健康づくりの関心を高めてもらうため、事業内容の見直しを行い、より取組みやすい事業内容を検討する必要がある。 ・青年期から中高年期の運動習慣の定着のために、ウォーキングを普及するミニイベントを検討する必要がある。 	健康づくり課
		ダンス健康づくり事業費	3,387			
		健康体操運営費	4,040			
33	健康増進事業	健康増進事業費	28,090	見直しの上で実施	・平成25年度から実施してきた検診費用が無料となるクーポン券の交付事業の対象者が変更となるため、引き続き、がん検診の受診促進とがんの早期発見、正しい健康意識の普及啓発を図り健康保持及び増進を図るための事業を実施する。	健康づくり課
34	感染症予防事業	感染症予防費	81,563	見直しの上で実施	・平成30年度で、定期予防接種の高齢者肺炎球菌予防接種特例措置が終了となるため、周知を図る。	健康づくり課
35	母子保健事業	母子保健衛生費	42,645	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化を図るため、支援が必要な方を確実に把握し、タイムリーな支援が実施できるようサービス内容の検討、充実を図る。 ・静岡県版1歳6か月児、3歳児健康診査マニュアルを運用して効果的な健診を実施し、適切な指導支援へつなげる。 	健康づくり課
		妊娠・出産包括支援事業費	1,219			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
36	こども医療費助成事業	母子保健衛生費	132,250	現状のまま継続	・静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき執行する。	こども未来課
37	食育推進事業	食育推進事業費	508	見直しの上で実施	・町の栄養課題の解決のため、食育推進計画に基づいた食育事業を推進する。 ・食育推進連絡会議や栄養士連絡会の会議内容を検討し、より効果的な食育推進を行っていく必要がある。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野2 地域医療

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
38	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費	18	現状のまま継続	・地域医療体制の課題と対策について、関係機関と協議を継続する。 ・行政、関係機関、住民が連携を図った上で、それぞれの役割分担を検討する。	健康づくり課
39	榛原総合病院組合事業(負担金)	榛原病院負担金	382,969	現状のまま継続	・負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の基幹病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状の維持が必要である。 ・平成31年度以降の運営に係る経費の負担割合の見直しを行う。	健康づくり課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
40	救急医療体制 整備事業	救急医療対策事業費	6,169	現状のまま継続	・志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。	健康づくり課
41	災害時医療救護対策 事業	災害時医療救護 対策事業費	610	見直しの上で実施	・救護所に必要な物品を見直し、引き続き整備を進める。 ・医療救護計画や災害時健康支援マニュアルの内容の検討、整備を引き続き行う。 ・医療救護訓練を定例で行う。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野3 地域福祉

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
42	地域福祉推進事業 (福祉総務事業)	福祉総務費	327	見直しの上で実施	・ふれあいのある地域社会の形成を目指し、実務者会の内容充実、関係機関との連携強化を行う。	福祉課
43	臨時福祉給付金給付 事業	臨時福祉給付金給付事業費	16,045	終了	・本事業は消費税の10%への引き上げに伴う経過措置としての事業として実施されており、平成29年度に実施される給付事業により全ての事業を終了する。	福祉課
		年金生活者等支援臨時 福祉給付金給付事業費	3,930			
		臨時福祉給付金給付事 業費(国補正分)	43,412			
		年金生活者等支援臨時福祉給 付金給付事業費(繰越明許)	57,225			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
44	地域福祉推進事業 (地域福祉計画 の策定)	地域福祉計画策定事業費	1,296	見直しの上で実施	・地域福祉計画策定委員会において、計画の進捗状況の点検をする。	福祉課
45	地域福祉推進事業 (戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	585	見直しの上で実施	・現在の平和と繁栄の影に、先の大戦において、内外地を通じて多数の犠牲があったことを深く考え、平和への思いを新たにするために今後も式を継続する。 ・平成29年度は学習ホールで行うが、会場の選定を含め遺族の高齢化へ対応していくため、今後の式の在り方について検討を行う。	福祉課
46	地域福祉推進事業 (社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	29,590	現状のまま継続	・社会福祉協議会が地域福祉の推進主体として中核的役割を担い、町や他の関係機関と協力しながら、地域の福祉力の増進に努めていけるよう補助金助成を継続する。	福祉課
47	地域福祉推進事業 (民生委員・ 児童委員活動)	民生・児童委員活動費	6,333	見直しの上で実施	・民生委員児童委員が活動しやすいよう支援し、地域福祉活動の推進を図る。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
48	国民年金事務事業	国民年金事務費	394	現状のまま継続	・引き続き、法定受託事務として予定されている事務を確実に処理する。	町民課
49	国民健康保険事業 会計繰出金	国民健康保険事業会計 繰出金	150,550	現状のまま継続	・平成30年度から国民健康保険事業が広域化(市町と県の共同運営)されるが、一般会計からの繰出しは、平成29年度までと同じく、国の示した基準に沿って適正に実施する。	町民課
50	国民健康保険事業 (特別会計)	国民健康保険 特別会計	3,244,150	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険税の収納率向上に向け、税務課と連携し、引き続き、納付勧奨や口座振替の促進、資格の適正化に努める。 ・年々増加する医療費について、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 ・生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、医療費の抑制に努める。 ・医療費の適正化を図るため、レセプト点検、重複多受診防止のための指導を行う。 ・国民健康保険法等の一部改正により、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保などの国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化が図られる。 	町民課
51	老人保健事務事業	老人保健事業事務費	2,737	終了	・老人保健制度については、平成30年度以降は、後期高齢者医療広域連合が事務を取り扱う。	町民課
52	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業 事務費	263,074	現状のまま継続	・保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。	町民課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
53	後期高齢者医療事業 (特別会計)	後期高齢者医療 特別会計	236,105	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療制度は現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。 収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。 	町民課
54	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計繰出金	255,075	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に策定する第7期介護保険事業計画に沿って、事業を円滑に実施するために、介護保険制度に基づいた割合で繰出しを行う。 	福祉課
55	介護保険事業 (特別会計)	総務費	39,301	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に策定した新たな介護保険事業計画に基づいて事業を実施する。 新しい総合事業を円滑に実施するとともに、地域包括ケアシステムの構築を目指し、生活支援体制を整備する。 	福祉課
		保険給付費	1,565,587			
		基金積立金	37,452			
		地域支援事業費	57,939			
		諸支出金	13,529			
		予備費	0			
56	低所得者利用者 負担額軽減措置事業	低所得者利用者負担額 軽減措置事業費	187	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。 	福祉課
57	生活保護事業 (生活保護費)	生活保護費	1	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は生活困窮者に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も存続させる必要がある。 生活保護実施機関である静岡県並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し支援体制の強化を図る。 	福祉課

第 2 章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野 5 子育て支援

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
58	地域子育て支援 拠点事業	地域子育て支援 拠点事業費	5,765	見直しの上で実施	・今後も、妊産婦の求める講座等、年齢・町外出身者等のニーズを的確に捉えて各種事業を充実させ、事業の広報にも力を入れるとともに、子育て指導員の確保に努め、事業内容・回数等の拡大等により、子育て支援センター利用者数の増大に努める。	こども未来課
59	吉田町次世代 育成支援 (児童手当事業)	児童手当費	544,670	現状のまま継続	・児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
60	児童福祉事業	児童福祉費	2,734	見直しの上で実施	・出産祝金事業を継続するとともに、子育ての負担感を軽減するための施策を検討する。 ・ファミリー・サポート・センターの円滑な運用のための見直しを行う。 ・キッズサークル等について、既存の設備の充実及びその他の公共施設へのキッズサークルの設置を検討する。 ・引き続き、作成した子育て支援PR動画を活用した講座の開催等を検討する。	こども未来課
61	保育園管理運営事業	保育園管理費	147,125	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園入所希望者に対して、個々のニーズに応えるため、保育士の確保とわかば保育園の需要増加に対する施設整備を検討する。また、給食員やさらなる保育士の処遇改善を図り、他市町より当町が働きやすいということをアピールし、給食員・保育士確保に繋げる。 ・つながりのある教育の推進に向けて、幼児教育カリキュラムの平成30年度実践園のわかば保育園を中心に幼児教育活動の研究を行い、保育士の資質向上を目指す。 ・施設整備は今後の需要も考慮しながら慎重に検討する。 	こども未来課
		さくら保育園運営費	14,838			
		すみれ保育園運営費	22,187			
		さゆり保育園運営費	17,332			
		わかば保育園運営費	19,651			
		あやめ保育園運営費	4,839			
		保育園管理費(繰越明許)	864			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
62	児童館運営事業	児童館運営費	9,924	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業や民生委員によるすくすく広場の開催を継続して行うとともに、ボランティアによる活動の促進を図る。 今後も継続してホームページに「児童館だより」を掲載するとともに、各種事業やイベントの周知を積極的に行う。 	こども未来課
63	児童遊園整備事業	児童厚生施設整備費	259	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、今後の管理運営体制について、検討を行った結果を基に管理を行う。 今後も、快適な環境で子どもが遊ぶことができるよう、遊具修繕や樹木の伐採、害虫駆除等を実施する。 	こども未来課
64	児童発達支援事業	こども発達支援事業費	21,057	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して子育てができ、幼児一人ひとりが健やかに育つためには事業を現状のまま継続する必要がある。 	こども未来課
65	子ども会育成助成金事業	子ども会育成連合会助成事業費	400	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで、次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成を支援する。 	こども未来課
66	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費	44,328	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が待機することなく、安全に利用ができています。 さらに気になる親子への対応が有効に行えるよう、支援員の資質の向上を図る。 	こども未来課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
67	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	2,989	見直しの上で実施	・要保護児童対策地域協議会の機能を有効に活用することで、虐待防止対策ネットワークの強化を図り、迅速かつ適切な対応及び支援を行う。	こども未来課
68	ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭対策事業費	5,544	見直しの上で実施	・ひとり親家庭の経済的な自立と生活の安定を図るため、日常生活の支援や相談指導体制を充実させることが必要である。 ・児童扶養手当及び母子家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理が行われるよう努める。 ・事務処理の流れ等を見直し、適正に迅速に対応できるよう努める。	こども未来課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野6 高齢者福祉

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
69	高齢者福祉推進事業	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	1,454	見直しの上で実施	・平成29年度に策定する「第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づいた高齢者福祉施策を展開する。 ・高齢者見守りネットワーク協力事業所を増加させ、高齢者を見守る体制を充実させる。	福祉課
		高齢者見守り体制整備事業費	476			
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	771			
70	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	10,031	現状のまま継続	・シルバー人材センター会員の増加と高齢者の社会参加を推進するため、高齢者福祉推進関係団体としての活動を支援する。 ・高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。	福祉課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
71	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	2,160	見直しの上で実施	・高齢化が進む中、高齢者とその家族が安心して生活を送ることができるように、各種福祉サービスについて再検討する。	福祉課
		老人福祉対策費	1,154			
		敬老事業費	3,083			
		老人保護措置費	5,204			
72	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	63,976	現状のまま継続	・施設の管理運営について、住民サービスの向上や経費の削減を図るため、指定管理者制度を継続する。	福祉課
		社会福祉施設管理事業費(繰越明許)	141,839			

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野7 障害者福祉

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
73	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	3,863	見直しの上で実施	・福祉サービス等の提供体制の整備並びに障害福祉施策向上への取組みの強化に努めるよう事業を継続する。 ・現状の委託契約内容について改めて精査し、事業内容について見直しを行う。	福祉課
74	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	448,774	現状のまま継続	・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、引き続き事業を実施する。	福祉課
		地域生活支援事業費	30,231			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
75	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	16,960	現状のまま継続	・障害児への療育を支援するため、引き続き、負担金を支出する。	福祉課
76	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	2,796	現状のまま継続	・継続的に生活支援を行うことで、障害者(児)が安心できる生活の基盤を形成することができるように、引き続き事業を実施する。	福祉課
		心身障害者更生援護費	42,145			

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 農 業

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
77	農業総務事業	農業総務費	1,030	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を構築する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度により、農家の経営を守り、農業生産の発展を促す制度として農家が納める掛金の一部を町が負担し、負担の軽減を図ると共に制度運営の円滑化に継続して取り組む。 	産業課
78	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	3,382	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地流動化(利用集積)を促進する。 ・農地法等の厳正な事務執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取組み、農業全般にわたる諸問題を遅延なく解決するように努める。 ・農業者年金への加入促進活動を通じて、安心して豊かな老後生活の安定と福祉の向上を図るよう新規加入者の掘起しに努める。 	産業課
		農業者年金事務費	173			
79	農業振興事業	農業振興費	8,504	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者団体への支援を行うことにより、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に沿った、自立した経営体の育成に努める。 	産業課
80	農業経営所得安定 対策推進事業	農業経営所得安定対策 推進事業費	124	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国(関東農政局)が行っていた事務が町へ移譲されるようになるため、事務量が増加する。 ・事務量の増加に伴い、国に対して推進事務費の増加要望を行う。 ・引き続き、事業周知の普及啓蒙を図り、制度への新たな加入者の促進に努める。 ・水田台帳を整備活用し、農業者への耕作地の情報を効率的に提供する。 	産業課
81	畜産事業	畜産業費	72	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜糞尿の適正な処理について指導及び啓発を行い、堆肥等への利用を促進することにより、環境負荷の少ない環境保全型畜産を引続き推進する。 ・防疫事業の効果や安全性等についての情報提供を随時行い、関係者への周知を図る。 	産業課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
82	担い手育成総合 対策事業	担い手育成総合対策 事業費	2,445	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農地の貸出し意向の掘起しにより、地域の中核的担い手に積極的な支援を行い、育成を図る。 ・認定新規就農者が地域の担い手となることを目指し、経営が軌道に乗るまでの間を支援するため、農業次世代人材投資事業(経営開始型、県費補助10/10)を継続して実施する。 ・農用地利用集積奨励補助金事業を引き続き実施する。 	産業課
83	土地改良事業	土地改良事業費	22,024	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区への賦課金助成金や国営大井川用水農業水利事業(第1期、H11～H21)に加え、新たに同事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金の負担金が追加される。 ・農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給や施設機能の適正な管理を図り、国営かんがい排水事業による造成施設や災害復旧事業、大井川用水の基幹水利施設及び末端用水路整備に係る事業費の負担を継続的に実施する。 	産業課
84	用水路補修・ 維持事業	用水路・改良維持修繕費	669	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。 	建設課
85	吉田坂部幹線用水路 改修事業	—	—	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。 	建設課
86	耕作放棄地対策事業	耕作放棄地対策事業費	74	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地の解消及び発生防止の推進のため、担い手への斡旋や新たな町独自の補助制度の広報及び活用に向けて農業者を引き続き支援し、荒廃農地の解消と農地の有効利用に向けて取り組む。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 水 産 業

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
87	水産振興事業	水産振興費	2,731	現状のまま継続	・4市1町(静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、吉田町)の連携を更に強化し、それぞれの持つ長所を活用しながら「駿河BlueLine」事業を実施することで、当町の水産物を県内外にPRし、効果的に水産振興を図る。	産業課
		水産振興費(繰越明許)	2,921			
88	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	467	現状のまま継続	・負担金による事業実施により、漁場環境の改善が図られ、漁獲量に対する効果が徐々に表れてきていることから、今後も継続的に事業を進め更なる水産資源を確保する。	産業課
89	漁港管理事業	漁港管理費	11,848	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の適正な維持管理に努める。	産業課
90	水産基盤整備事業	水産基盤整備事業費	22,224	現状のまま継続	・引き続き、漁港施設整備に係る各事業の事業計画に沿って計画的に事業を実施する。特に、多目的広場の整備を重点的に実施し早期完成に努めるとともに、漁業環境の向上を図るため、機能保全事業において、港内の浚渫工事を実施する。	産業課
		水産物供給基盤機能保全事業費	20,268			
		漁港施設機能強化事業費	6,400			
		漁港環境整備事業費	200,000			
91	小規模局部改良事業	小規模局部改良事業費	12,000	休止	・現時点では緊急を要する施設整備はないため、平成30年度は休止する。	産業課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
92	流木等処理対策事業	—	—	見直しの上で実施	・台風等の影響で海岸に漂着物が打ち上げられ、漁港海岸の景観保持や環境対策が必要となる場合に実施する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 3 商 工 業

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
93	商工業振興事業	商工業振興費	3,724	現状のまま継続	・小規模事業者の経営の安定と振興を図るため、補助要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。	産業課
94	中小企業振興事業	中小企業振興費	1,679	現状のまま継続	・引き続き、各制度要綱に基づき適正に事業を行い、中小企業の経営基盤の安定及び健全な発展を支援する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 4 観 光

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
95	観光振興事業	観光振興費	31,500	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携DMO及びディスティネーションキャンペーンの本格的な事業実施により、魅力ある観光商品の開発に取り組む。 ・外国人観光客に対する対応を検討する。 ・シーガーデンシティ構想の進展に伴い、観光案内所や水産物の直売所、食堂等を設けた観光施設の整備を検討する。 	産業課
96	観光PR事業	—	—	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や空港就航先等を含め、広域的な観光PRに努める。 ・旅行会社等へ積極的に情報提供を行い、誘客促進を図る。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 5 新 産 業

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
97	産業支援事業	—	—	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・創業セミナー等の創業支援事業を継続するとともに、創業支援センターの利活用を推進し、創業を目指す方々を多面的に支援する。 	産業課
98	産業委員会運営事業	産業委員会運営事業費	105	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・町の産業振興事業をはじめ、各産業の経営安定化や合理化などについて、協議を行い、産業及び地域の活性化を図る。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 6 企 業 誘 致

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
99	企業立地振興事業	企業立地振興費	55,783	現状のまま継続	・町内への企業立地を促進させるため、効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業間交流の活性化、企業立地支援体制の強化を図るなどの積極的な企業誘致活動を実施する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 7 雇 用 ・ 就 業 対 策

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
100	労働福祉事業	労働福祉費	2,552	現状のまま継続	・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の充実を図り、安定した労働力を確保するため、補助要綱に基づき、榛南地域労働者福祉協議会及び榛南地区勤労者共済会への補助金支出を継続する。	産業課
101	雇用対策事業	雇用対策費	318	見直しの上で実施	・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所と連携を強化し、就業促進を図る。 ・特別支援学校との連携を深め、町内事業所に対して、職場実習や障害者雇用に向けての理解促進を図る。 ・就労に悩みを持つ若者に対して、就労支援セミナーを実施する。 ・インターンシップ受入先企業の開拓や大学と地域間の交流を促進することにより、当町への雇用創出及び若者定着を図る。	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 1 土地利用

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
102	国土利用計画 (吉田町計画) 策定事業	国土利用計画事業費	—	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町国土利用計画は、国土利用法第8条の規定に基づき、吉田町の区域における土地の利用に関する基本的事項を定めるものである。 ・第3次吉田町国土利用計画の目標年次は平成35年度となっており、引き続き本計画に沿った土地利用を図る必要があるほか、県、国が実施する研修会等に参加して情報収集を行う。 	企画課
103	土地利用及び 開発行為関連事業	都市計画総務費	505	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・開発許可制度及び土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過しており、初期に開発された分譲地の調整池及び公園のフェンス等の劣化がみられるため、調整池の浚渫、フェンスの交換が必要な時期が来ている。また、樹木の繁茂による剪定依頼が増加しており、引き続き適切な管理を行い、快適な住環境の維持に努める必要がある。 	都市環境課
		土地利用対策費	1,257			
104	都市計画 マスタープラン 策定事業	都市計画マスタープラン 事業費	7,560	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月で中間変更が終了するため、平成30年度は休止とする。 	都市環境課

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 2 住環境

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
105	建築確認事務事業	建築確認事務費	166	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「静岡県事務処理の特例に関する条例」に基づき、建築関係法令に規定する事務処理を行う。 	都市環境課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
106	みどりのまちづくり 事業	みどりのまちづくり事業費	50	現状のまま継続	・緑あふれる町づくりを推進するとともに、地震等による災害の防止を図るため、引き続き「吉田町生け垣づくり事業補助金」制度の積極的な活用を促進する。	都市環境課
107	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,773	見直しの上で実施	・花いっぱい快適な生活環境づくりを促進するとともに、花いっぱい活動を通じたコミュニティの活性化を図るため、引き続き、事業を推進する。 ・花街道事業については、現状及びニーズ等を把握し、事業内容全体の見直しも視野に入れた検討を行うことで、より効果的な事業の推進を図る。	都市環境課
108	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	45,409	見直しの上で実施	・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・土地区画整理事業区域内の保留地処分を進めることにより、定住の促進につなげる。	都市環境課
109	西の宮雨水幹線 整備事業	西の宮雨水幹線整備事業費	39,755	見直しの上で実施	・計画に沿って引き続き工事実施する必要がある。	都市環境課
110	町営住宅維持管理 事業	町営住宅維持管理費	29,272	現状のまま継続	・「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に沿って、町営住宅の修繕及び改善事業を実施する。	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野3 公園・緑地・水辺

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
111	緑化推進事業	緑化推進費	2,849	現状のまま継続	・引き続き、緑化意識の普及に務めるとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、吉田町みどりのオアシスマつりを開催する。	都市環境課
112	公園維持管理事業	公園維持管理費	32,813	見直しの上で実施	・住民の憩いの場である公園を安全に利用できるよう、ベンチや遊具等の点検を行い、計画的に維持修繕を実施する。 ・公園利用者が快適に利用することができるよう、樹木の剪定や草刈等を実施し、適正な公園管理に努める。 ・公共施設の中長期的な管理を実施するため、長寿命化計画の策定を検討する。	建設課
113	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	300	現状のまま継続	・引き続き、公園愛護活動を自発的に行う団体に対し、報償金制度の積極的な活用を促進する。併せて、他の緑化推進団体と連携し、都市公園施設が、地域住民等により適正に維持管理され、その機能を十分発揮できるよう、より一層の公園愛護活動の助長及び充実を図る。	建設課
114	吉田公園整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
115	湯日川緑道整備事業 (湯日川能満寺)	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
116	防災公園整備事業	都市防災総合推進事業 防災公園整備事業費	16,711	終了	・平成28年度に工事完了。	建設課
		都市防災総合推進事業 防災公園整備事業費 (繰越明許)	152,741			
117	住吉西の坪公園 整備事業	—	—	見直しの上で実施	・現況のグラウンドを活用する方法を検討する。	建設課
118	能満寺山公園等 整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
119	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	3,311	現状のまま継続	・防風、防潮、飛砂防備等、松林の公益的機能を適正に保全するため、事業を継続する。	産業課
120	保安林等保護環境 整備事業	保安林等保護環境 整備事業費	3,694	見直しの上で実施	・防風、防潮、飛砂防備等の機能を保全し、未然に不法投棄を抑制するためにも、継続的な環境整備が必要であることから、より広域で詳細な業務を遂行する。	産業課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
121	河川維持管理事業	河川総務費	1,001	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の環境美化活動を支援する制度(リバーフレンドシップ制度)を広く周知することにより、ボランティア団体の参加数を増やす取組を行う。 ・快適な河川環境の保全が図れるよう、自発的に河川清掃を実施する団体を支援する。 ・引き続き、良好な河川環境を確保するため、河川パトロールを実施する。 	建設課
		河川維持管理費	8,747			

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野4 道路網

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
122	大幡川幹線道路 改良事業	—	—	見直しの上で実施	・平成30年度には路線測量及び計画策定の業務を実施する予定である。	建設課
123	中央幹線整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
124	住吉幹線整備事業	都市防災総合推進事業 住吉幹線整備事業費	7,014	見直しの上で実施	・住吉幹線の整備は完了したが、整備により生じた広場の活用方法を検討する。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
125	富士見幹線整備事業	都市防災総合推進事業 富士見幹線整備事業費 (繰越明許)	64,053	終了	・平成28年度に工事完了。	建設課
126	榛南幹線整備事業	—	—	見直しの上で実施	・平成24年度から平成28年度の5年間において、社会資本総合整備計画(安全で利便性の高い交通環境の創出)で実施した街路事業等について、事業完了後に義務付けられている事後評価を実施する。	建設課
127	道路標識設置事業	—	—	見直しの上で実施	・榛南幹線及び東名川尻幹線において、円滑な交通誘導を促進するため、主要な交差点(4箇所)の信号機に交差点名表示板を設置する。	建設課
128	都市計画道路負担金事業	都市計画道路事業負担金	138	現状のまま継続	・同盟会を構成する他市町と連携を取りながら国や県への要望活動を行うことで事業促進を図ることができるため、引き続き同盟会へ参加する。	建設課
129	東向2号線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
130	亀の尻線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
131	西の坪大浜線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
132	西の宮線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
133	本田線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
134	中瀬北原線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
135	三軒屋西の宮線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
136	古川川尻線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
137	下片岡山通り線歩道 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
138	中臨港線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
139	吉田坂部線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
140	谷川東塩谷線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
141	日の出向原線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
142	大幡川尻2号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
143	東村上組線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
144	住吉東中線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
145	役場南線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
146	西川原間屋線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
147	間屋堤線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
148	西向5号線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
149	青柳北原線道路改良事業	—	—	見直しの上で実施	・東名側道南1号線は道路環境の変化から大型車も含め車両の通行が増加傾向にあるが、青柳北原4号線との交差点付近においては、すれ違いが出来ないほど危険な状況である。平成30年度に交差点改良を実施して、安全かつ良好な道路環境の構築を図る。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
150	森下西浜線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
151	荒古線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
152	寄子新田2号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
153	西の坪八軒屋1号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
154	浜河原5号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
155	松原線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
156	山通り浜河原線・ 川尻前田1・2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
157	東中1号・西中2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
158	町上3号線道路 改良事業	—	—	見直しの上で実施	・これまでに測量設計業務を実施していることから、平成30年度より用地買収及び物件移転補償を実施する。	建設課
159	神戸大幡境2号線 道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
160	堤内8号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
161	境内下神戸線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
162	西浜3号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
163	東村線道路改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
164	向原6号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
165	西の宮6号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
166	三ツ谷線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
167	高島9号線道路 改良事業	高島9号線道路 改良事業費	14,846	終了	・平成28年度で事業完了(企業活動維持支援事業区域基盤整備事業に移行)	建設課
168	東村上組2号線道路 改良事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	建設課
169	企業活動維持支援 事業区域基盤 整備事業	企業活動維持支援 事業区域基盤 整備事業費	469	現状のまま継続	・企業活動維持支援事業区域基盤整備に向けて、工事を実施することで平成30年度の完成を目指す。	建設課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
170	道路維持管理事業	土木管理費	13,499	現状のまま継続	・引き続き、安全で快適な道路環境を確保するため、道路の維持管理に努める。	建設課
		道路維持費	38,429			
171	吉田町内道路舗装 修繕事業	吉田町内道路舗装 修繕事業費	15,940	現状のまま継続	・年々増大する道路ストックの戦略的な維持管理を図るため、計画的に修繕事業を実施することで、道路の長寿命化を図るものとする。	建設課
172	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	22,000	現状のまま継続	・引き続き、点検により損傷の分類を行い、危険状況により、迅速な対策を講じたり、効率的な修繕を実施するための指標とすることができた。	建設課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野5 生活交通

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
173	生活交通確保 対策事業	生活交通確保対策費	91	見直しの上で実施	・「公有民営方式車両購入費国庫補助金」を活用して、新型のノンステップ型車両を購入し、その車両をバス事業者へ5年間リースすることにより、町内のバス路線の維持とバスの利便性の向上、バス事業者の負担軽減を図る。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野6 コミュニティ

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
174	自治会活動推進事業	自治振興費	16,299	現状のまま継続	・自治会組織、町内会組織の円滑な運営のため、引き続き、各種補助事業を実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動が行われるよう支援する。	総務課
		自治会運営費	4,226			
		地域施設管理費	2,650			
		町内会運営費	3,800			
		町内会活動費	8,209			
175	コミュニティづくり推進事業	—	—	現状のまま継続	・引き続き、多くの町民がコミュニティづくりの研修を受講することにより、生涯学習としてのまちづくりについて学ぶ機会を提供する。また、受講された町民には、地域教育推進協議会の事業への参画を促進する。	生涯学習課
176	コミュニティ施設整備事業	コミュニティ施設整備事業費	1,596	現状のまま継続	・コミュニティづくりの推進を図るため、引き続き、本事業を継続し、コミュニティ活動拠点の整備を支援する。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野7 多文化共生

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
177	多文化共生推進事業	国際交流推進費	1,301	見直しの上で実施	・多文化共生推進のために必要な事業の選択とその事業の実施方法を検討するとともに、現在の国際交流事業費補助金の補助対象についても見直しを行う。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野8 賑わいづくり

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
178	シーガーデンシティ 推進事業	内陸フロンティア推進事業費	346	現状のまま継続	・物資供給拠点確保事業、企業活動維持支援事業ともに、町、進出企業による建設工事や詳細設計が行われるため、引き続き、事業の推進に当たり、地元への周知徹底を図る必要がある。	企画課
		まちづくり賑わい創出 事業費(繰越明許)	42,027			
179	シティプロモーション 事業	シティプロモーション 事業費	477,617	見直しの上で実施	・若年世帯に向けた各ライフステージにおける補助制度の活用を促進するための周知を積極的に行い、町内への移住・定住者の増加を図る。 ・町内の空き家や空き店舗等を活用した移住定住促進施策の充実を図る。 ・地域おこし協力隊員を採用し、一般社団法人吉田町まちづくり公社の事務局体制を整える。	企画課
180	大井川流域交流事業	大井川流域smileネット 事業費	3,511	見直しの上で実施	・番組放送回数、曜日等業務体制の見直しを図り、より効果的な情報発信に努める。 ・イベントの広報の方法や内容を見直し、大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進を図る。	企画課
		大井川流域交流費	650			
181	空港活用推進事業	空港活用推進費	949	現状のまま継続	・空港旅客ターミナルビルにおいて、平成30年度は、改修・増築工事が完了する。また空港ターミナル地区西側の格納庫用地の使用者が決まったことから、その使用に当たっての工事や利用が開始される予定である。この賑わいづくりを活かすため、引き続き、空港周辺市町が連携して空港の利活用促進を図る。 ・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 ・空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会を継続して開催する。 ・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、引き続きシーガーデン多目的広場整備事業及び北区の道路改良事業に補助金を活用する。	企画課
182	交流活性化推進事業	地域交流費	4,033	見直しの上で実施	・引き続き、「八女市・吉田町未来創造の翼交流事業」により、八女市との都市間交流事業を実施する。 ・吉田カムカム補助金対象イベントの開催により、町外含め多くの人が当町を訪れ、町の賑わいや地域活性化の効果が得られていることから、本事業を継続して、更なる新規イベントの誘致に努める。	企画課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 かな 人 を 育 む ま ち づ くり 分 野 1 幼 児 教 育

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
183	幼児教育振興事業	幼児教育振興事業費	28,899	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育カリキュラムについては、現状のまま継続する。 ・運営費補助金、就園奨励費補助金については、平成29年度の検討状況を踏まえた上で実施する。 	学校教育課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 かな 人 を 育 む ま ち づ くり 分 野 2 学 校 教 育

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
184	教育委員会運営事業	教育委員会費	1,133	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。 ・教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行にあたっては、総合教育会議で合意した方針の下に進める。 ・より審議の活性化を図るとともに、状況に応じて迅速な危機管理体制の構築を図る。 	学校教育課
185	事務局事務事業	事務局事務費	5,340	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教育関係機関との連携を密にした教育行政を展開し、教育委員会の諸活動を円滑に実施する。 	学校教育課
186	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	3,161	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、中学校体育連盟大会運営助成金の支出や中学校部活動の県大会以上派遣補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成に努め、教育環境の充実を図る。 	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
187	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	6,758	見直しの上で実施	・「子どもたちが自然科学に興味や関心を持ち、自然体験や実験等を通じて科学の楽しさを学び、異なる年齢の子どもが集い教え合える場を提供する」という、設置目的を念頭におき、ちいさな理科館が持つ資源(設備や備品、人材)を適切に活用し、住民の科学へのニーズに応えられる体制づくりを行う。	生涯学習課
188	住吉小学校維持 管理事業	住吉小学校維持管理費	25,261	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
189	中央小学校維持 管理事業	中央小学校維持管理費	31,297	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
190	自彊小学校維持 管理事業	自彊小学校維持管理費	23,948	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培う為、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
191	吉田中学校維持 管理事業	吉田中学校維持管理費	36,618	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
192	中央小学校グラウンド 整備事業	—	—	休止	・今後、事業実施時期を検討する。	学校教育課
193	小学校校舎改築事業	—	—	休止	・児童数、クラス数の推移により検討する。	学校教育課
194	水泳場整備事業	—	—	休止	・今後、事業実施時期を検討する。	学校教育課
195	住吉小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	住吉小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	1,546	現状のまま継続	・平成30年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	学校教育課
196	中央小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	中央小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	1,872	現状のまま継続	・平成30年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
197	自彊小学校要保護・ 準要保護児童就学 援助事業	自彊小学校要保護・ 準要保護児童 就学援助費	600	現状のまま継続	・平成30年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な児童を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	学校教育課
198	吉田中学校要保護・ 準要保護生徒就学 援助事業	吉田中学校要保護・ 準要保護生徒 就学援助費	4,538	現状のまま継続	・平成30年度以降においても、事務処理要項等に基づき事業を実施し、経済的理由により就学困難な生徒を無くし、等しく円滑に教育を受けられるように支援する。	学校教育課
199	住吉小学校特別支援 学級事業	住吉小学校 特別支援学級費	440	現状のまま継続	・引き続き、特別支援学級に在籍する児童に対し、必要な教材等を提供する。 ・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	学校教育課
200	中央小学校特別支援 学級事業	中央小学校 特別支援学級費	411	現状のまま継続	・引き続き、特別支援学級に在籍する児童に対し、必要な教材等を提供する。 ・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	学校教育課
201	自彊小学校特別支援 学級事業	自彊小学校 特別支援学級費	322	現状のまま継続	・引き続き、特別支援学級に在籍する児童に対し、必要な教材等を提供する。 ・引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。	学校教育課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
202	吉田中学校特別支援 学級事業	吉田中学校 特別支援学級費	487	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、特別支援学級に在籍する児童に対し、必要な教材等を提供する。 引き続き、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している生徒の家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、良好な教育環境を整備し、教育の充実を図る。 	学校教育課
203	教育振興事業	教育振興事業費	50,052	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ラーニングプラン事業については、平成29年度で終了のため、同事業で得た成果を活かして、新たに児童生徒の確かな学力の定着を図る事業を行う。 	学校教育課
		ラーニングプラン事業費	13,268			
204	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (共同調理場)	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (給食施設費)	107,258	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	学校教育課
205	小・中学校健康診断 事業	小・中学校健康診断費	10,988	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法及び吉田町立学校職員安全衛生管理規程に基づき、引き続き、健康診断等を通して健康管理を行う。 	学校教育課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野3 地域教育

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
206	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	755	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を育む活動を推進するため、継続した支援を行い、学校・家庭・地域の連携を強化する。 ・引き続き、家庭教育学級事業を通して、親の役割についての学びの場を提供する。また、親同士がお互いに子育ての悩みを語ったりすることを通して、親同士の交流を深める。 ・家庭教育学級事業において、多くの親に参加を求めていく必要があるため、魅力的な講座を展開していく。学校行事と抱き合わせで開催したり、親子で体験・参加できる形態をとることで参加しやすくし、また、親が安心して参加できるよう、託児の対応もしていくことで参加率を向上させる。 ・家庭教育学級の重要性を学校とも連携をとりながら、親へ呼びかける。 ・現在、自彊小学区で放課後子ども教室を実施しているが、TCPトリビンスプランの実施に伴い、平成30年度からは放課後子ども教室を全小学校区に拡大する予定。 	生涯学習課
207	地域教育活動事業	地域教育活動費	1,857	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ教室事業を行うことで、子どもに様々な体験を提供することができるとともに、地域の大人と子どもが関わる機会が増え、地域力の向上を図ることができることから、継続して実施する。 ・チャレンジ教室事業を通して、地域の大人が地域の子どもたちと積極的に関わるることによって、「地域の子どもは地域で守り育てる」活動を広める。 ・チャレンジ教室において、子どもたちが様々な体験ができるよう、幅広い講師の募集を行う必要がある。また、多種多様な教室を展開するため、地域から新たな教室を講師の発掘する。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野4 青少年健全育成

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
208	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	458	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成委員会事業について、青少年健全育成の環境づくりを行うため、青少年健全育成委員の活動について、引き続き実施する。 ・青少年健全育成事業において、「地域の青少年は地域で育てる」を柱に地域の青少年に、地域の大人が温かな眼差しを向け、声を掛け、積極的にかかわることを通して、青少年の健やかな成長を支援する。黄色のベストがそのシンボルとなるよう活動を継続する。 	生涯学習課

第 5 章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野 5 芸術文化・文化財

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
209	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	3,181	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会を得られるよう事業を継続する。 ・文化協会会員が減っている現状にあり、今後、町民に対し、生涯学習活動の一環として文化活動に取り組むよう、推進する必要がある。 	生涯学習課
210	文化財保護事業	文化財保護事業費	467	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を運営し、文化財の保存・保護に努める。 ・文化財の標柱・案内看板の維持管理を推進する。 ・新規に指定が考えられる事物について、文化財保護審議会で審議する。 ・文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土愛を育て、豊かな心を育む教育、文化づくりに繋がる。 	生涯学習課

第 5 章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野 6 生涯学習

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
211	社会教育総務事業	社会教育総務費	540	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 ・更なる職員の資質向上を図るため、研修会に参加する。 	生涯学習課
212	社会教育委員事業	社会教育委員費	577	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育法第15条の規定に基づく吉田町社会教育委員条例により設置された社会教育委員の資質向上及び会議の活性化を行うため、引き続き、事業を実施する。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
213	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	116	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生涯学習推進委員への研修会を行い、一般住民の生涯学習社会への理解を深める。 誰もが学習機会を持てるよう、障がい者(児)に対し、生涯学習の活動支援を行う。 	生涯学習課
214	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	4,897	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 高齢者の学習機会の充実を図るとともに、より生き生きとした生活が送れるようにするため、寿大学をより充実したものにする必要がある。 	生涯学習課
215	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	11,719	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、町民に対して快適な生涯学習環境を提供するため、引き続き、施設・設備の適切な維持管理を行う。 電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制し維持管理費の削減を図る。 	生涯学習課
216	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	13,152	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化や耐震性の課題に対して、計画的な改修や修繕を検討するとともに、誰もが安全、安心して利用しやすい施設となるよう整備する。 	生涯学習課
217	図書館管理事業	図書館管理費	38,569	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)を達成できるよう、情報処理機能の向上を図り、有効かつ迅速なサービスを行うことができる体制を整える。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
218	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	24,334	現状のまま継続	・来館者数は増加しているが、蔵書の新鮮度が低いため、利用者への資料・情報の提供量が低下してきている。今後も計画的な図書の除籍作業を行うとともに、図書資料とは異なる特性を持つ視聴覚資料の収集も含め、図書館の蔵書構成を見直し資料保存の在り方を検討することで、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)の趣旨に沿った図書館運営が行えるようにする。	生涯学習課
219	図書館外構整備事業	—	—	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、平成30年度は休止とする。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野7 スポーツ・レクリエーション

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
220	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	7,493	現状のまま継続	・今後も施設点検を定期的実施し、適切な処理をしていくことで、快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供し、スポーツ人口の拡大を図る。 ・施設の老朽化に伴い、順次、改修を行う必要がある。	生涯学習課
221	総合体育館運営事業	総合体育館運営費	41,870	見直しの上で実施	・今後も町民に対して快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、施設の整備及び維持管理を実施する。 ・耐震補強改修工事の完成に伴う利用者数の増加が見込まれるため、新たなニーズに対応するべく、各種事業の内容充実を図る。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
222	吉田町体育センター 運営事業	吉田町体育センター 運営費	1,409	見直しの上で実施	・今後も、利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設の整備及び維持管理を実施する。	生涯学習課
223	社会体育振興事業	社会体育振興費	8,696	見直しの上で実施	・総合体育館耐震補強改修工事に伴い、屋内で開催する平成29年度の各種大会や初心者スポーツ教室事業などを縮小したため、各種大会及び教室の参加者数の推移や町民ニーズを把握し、リニューアルした総合体育館を活用した魅力的な事業を実施する。	生涯学習課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
224	水道事業会計 (資本的支出) 建設改良事業	建設改良費	195,353	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給を図るため、基幹管路(導水管・送水管)の耐震化事業を進める。 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に耐震管を整備する。 	上下水道課
		固定資産購入費	300			
225	水道事業会計 (水道事業費) 営業費用	原水浄水及び配水給水費	110,229	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業は、水道法第6条第2項に「市町村経営の原則」が規定されており、地方公営企業法第17条の2には、「地方公営企業の経理は、一部例外を除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない、独立採算制であること。」が規定されている。今後とも、「水道の三原則(清浄、豊富、低廉)」を意識して安全で安心した水道水を供給する。 災害時の応急対策の諸活動を迅速かつ的確に実施できる体制を作る。 	上下水道課
		受託工事費	68			
		業務費	36,251			
		総係費	23,328			
		減価償却費	227,689			
		資産減耗費	9,220			
		その他営業費用	89			
226	水道事業会計 (水道事業費) 営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	59,541	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 企業債の借入を必要最小限度に止め、収支を確保し、経営の健全化を図る。 	上下水道課
		繰延資産償却	8,960			
		雑支出	20			
		消費税	18,701			
227	水道事業会計 (水道事業費) 予備費	予備費	—	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 不測の事態に対応するため、予備費を予算項目として計上する。 	上下水道課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
228	水道事業会計 (資本的支出) 企業債償還金	企業債償還金	149,766	現状のまま継続	・引き続き、償還計画に基づき、償還を進める。	上下水道課
229	水道事業会計 (水道事業費) 特別損失	その他特別損失	—	現状のまま継続	・会計処理上の不測の事態に対応するため、特別損失を予算項目として計上する。	上下水道課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野2 下水道・浄化槽・し尿処理

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
230	公共下水道事業 繰出金	公共下水道費	598,341	現状のまま継続	・起債償還に係る公債費は、今後も、平成33年まで5億円を上回る状態が続く。維持管理費に係る収支の改善を一層進めることとするが、下水道事業に係る収入で賄えない分に対し、一般会計から繰出しを継続する。	上下水道課
231	公共下水道事業 特別会計 (建設費)	管渠建設費	289,321	見直しの上で実施	・普及促進については、吉田町公共下水道事業全体計画並びに吉田町公共下水道事業計画に沿って進める。 ・地震対策事業については、吉田町公共下水道総合地震対策計画に沿って管渠の耐震化を継続して進める。	上下水道課
		浄化センター建設費	177,457			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
232	公共下水道事業 特別会計 (維持管理費)	管渠維持管理費	7,598	現状のまま継続	・長寿命化計画に基づく事業実施により、機器の計画的更新を行い、点検整備にかかる費用や故障による修繕費を低減し、経費回収率の向上を図る。	上下水道課
		浄化センター維持管理費	96,476			
233	公共下水道事業 特別会計 (公債費)	元金	395,760	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	上下水道課
		利子	145,500			
234	生活排水改善 対策事業	生活排水改善対策事業費	24,145	現状のまま継続	・循環型社会形成推進地域計画に基づき、本事業を推進する。	上下水道課
235	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (し尿処理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(し尿処理費)	90,732	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野 3 環境衛生

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
236	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	4,462	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防法に基づく事務処理及び一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を行う。 ・引き続き、飼い主のいない猫の不妊去勢を行う団体の支援をする。 	都市環境課
237	環境保全事業	環境保全費	18,568	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公共用地の草刈り、ごみの回収、不法投棄の回収等を速やかに実施し、環境を保全する。 ・不法投棄を防止するための対策について検討する。 	都市環境課
238	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	150	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境を考える機会を増やす。 ・静岡県地球温暖化防止活動推進センター等と連携を図り、環境教室の開催方法や内容、受講者の募集方法、対象者について検討する。 	都市環境課
239	公害対策事業	公害対策費	3,724	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法等の法律に基づく特定施設について、排出物質等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。 ・公害苦情発生時には早急に対応し、状況に応じた公害監視体制について検討する。 	都市環境課
240	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (火葬場費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(火葬場費)	13,539	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。 	都市環境課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野4 ごみ減量・リサイクル

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
241	ごみ減量・リサイクル 推進事業	ごみ減量・リサイクル 推進事業費	8,489	見直しの上で実施	・家庭から出される生ごみの減量化を推進するため、広報等を通じ、生ごみ処理機器等設置費補助金制度の積極的な活用を促進する。	都市環境課
242	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (ごみ処理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(ごみ処理費)	441,298	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野5 地球温暖化防止対策

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
243	地球温暖化防止 対策事業	地球温暖化防止 対策事業費	11,897	見直しの上で実施	・地球温暖化を防止するため、新たな自然エネルギーを活用した機器等に対する補助を検討する必要がある。	都市環境課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 1 行財政

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
244	一般行政事務事業 (企画)	企画調査費	1,385	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず変化する行政課題に柔軟に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・引き続き、吉田町総合計画等審議会を開催し、「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証を実施し、必要により、総合戦略改訂版を策定する。 ・県中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協約を結んだことから、各市町が連携して地域課題に取り組む「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の搭載事業を実施する。 	企画課
245	吉田町総合計画 策定事業	吉田町総合計画策定事業費	1,904	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次吉田町総合計画の実現に向けて、実施計画の策定及び総合戦略の見直しのほか、進捗状況の管理、住民意識調査等を実施する。また、住民意識調査の結果、社会情勢の変化等を整理しながら、後期基本計画策定に向けた情報収集を行う。 	企画課
246	行財政構造改革 推進事業	行財政構造改革 推進事業費	57	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による、PDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・吉田町行財政構造改革推進本部会議において、「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の自己評価を継続して実施する。 	企画課
247	一般行政事務事業 (総務)	一般行政事務費	40,565	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。 	総務課
248	吉田町牧之原市 広域施設組合負担金 (一般管理費)	吉田町牧之原市 広域施設組合 負担金(総務管理費)	32,594	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	総務課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
249	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	3,637	現状のまま継続	・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁を実施する。	総務課
250	庁舎施設維持管理 事業	庁舎管理費	89,860	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、照明の電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る。	総務課
251	公有財産管理事業	公有財産管理費	40,686	現状のまま継続	・土地の借上げ・公共施設の修繕、法定点検または町有地の売却・貸付については、町有財産の適正な維持管理を図るため、継続して実施する。 ・公共施設等総合管理計画を活用しながら、必要な修繕を行い、適正な維持管理を実施する。	総務課
252	公用車管理事業	公用車管理費	2,085	現状のまま継続	・安全かつ迅速に公務を執行するために、引き続き公用車の管理を行う。	総務課
253	契約管理事業	契約管理費	1,669	見直しの上で実施	・引き続き、工事検査及び入札・契約事務を円滑かつ適正に執行するとともに、制度の見直しについても検討する。	総務課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
254	選挙管理事業	選挙管理費	478	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
255	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	109	現状のまま継続	・引き続き、選挙人の政治意識の向上のため、投票参加を呼び掛ける選挙啓発を行う。	総務課
256	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	8,185	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課
257	衆議院議員選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく衆議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課
258	県知事選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく県知事の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
259	県議会議員選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく県議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課
260	町長、町議会議員選挙事業	—	—	休止	・公職選挙法に基づく町長、町議会議員選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課
261	大井川土地改良区総代選挙事業	—	—	休止	・土地改良法施行令第5条に規定する、法に基づく市町村選挙管理委員会が管理する選挙であるが、平成30年度においては選挙の予定はない。	総務課
262	静岡海区漁業調整委員会委員選挙事業	静岡海区漁業調整委員会委員選挙費	31	休止	・公職選挙法及び漁業法に基づく静岡海区漁業調整委員会委員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、平成30年度においては、選挙の予定はない。	総務課
263	一般行政事務事業 (戸籍住民基本台帳事務)	戸籍・住民基本台帳事務費	31,306	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳法の改正により、マイナンバーカード及び住民票に旧姓を併記することができるようになるため、システム改修やマニュアルを整備し事務手続きが円滑に遂行できるようにする。 ・住民サービスの向上とマイナンバーカードの普及を促進するため、マイナンバーカードの独自利用等について検討する。 ・将来的に自動交付機から証明書コンビニ交付サービスに移行するため、マイナンバーカードの交付を促進する。 	町民課
		戸籍・住民基本台帳事務費(繰越明許)	4,616			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
264	一般行政事務事業 (出納管理事務)	出納管理事務費	1,850	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適正かつ効率的な出納管理事務を行う。 資金管理、運用について、最も確実かつ有利な方法を検討する。 より円滑で適正な会計事務処理を行うための手法を検討する。 	会計課
265	一般行政事務事業 (議会)	議会運営費	68,907	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる検討をさらに行うとともに、その支援を積極的に行う。 議会ICT化について、より一層の推進を図るための支援を積極的に行う。 	議会事務局
		議会調査活動費	3,519			
266	一般行政事務事業 (監査)	監査委員費	1,224	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 監査をより充実させるため、監査日数(回数)及び方法等について、引き続き検討する。 監査事務強化のため、監査委員事務局の設置及び専門性を持った職員の配置について検討する必要がある。 	議会事務局
267	統計調査事業	統計一般事務費	224	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために、必要な事業であるため、継続して実施する。 町民に広くPRし、より多くの登録統計調査員を確保する。 	企画課
		諸統計調査費	1,411			
268	土地取得事業 繰出金	—	—	休止	<ul style="list-style-type: none"> 用地先行取得に係る土地取得事業特別会計の起債償還に対する事業であるが、現在、対象となる償還は無い。 	総務課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の 方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
269	土地取得事業 特別会計	一般管理費	440	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 土地開発基金への積み立ては継続し、また、用地の先行取得が必要な際は、即座に対応できるよう事業を継続する。 今後取得費を借入した場合には、次年度以降元金及び利子を公債費により償還する。 	総務課
		財産取得費	—			
		繰出金	—			
270	普通財産活用事業	普通財産取得費	—	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に土地取得事業特別会計から土地を買い戻し、一般競争入札に付し、土地の売払いを行う。 	総務課
271	財政管理事業	財政管理費	1,887	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災まちづくりににぎわいを加えた「シーガーデンシティ構想」を推進していくことから、引き続き、後年度における財政負担に留意し、健全で安定した財政運営に努める。 	企画課
272	公債費償還事業	公債費(元金)	827,441	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。 地方債残高の抑制を図るため、銀行や信用金庫などの民間資金の繰上償還を検討する。 	企画課
		公債費(利子)	112,062			
		公債諸費	—			
273	基金費事業	財政調整基金費	337,041	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、不測の事態に対応し、安定した財政運営を行うため、財政調整基金を積立てる。 事業効果をよく検討し、基金を活用する。 	企画課
		減債基金費	3			
		環境保全基金費	1			
		小中学校建設基金費	125			
		教育振興基金費	936			
		ふるさとよしだ寄附金 基金費	189,432			

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
274	予備費事業	予備費	—	見直しの上で実施	・引き続き、財政の均衡を阻害しない程度の金額で予備費を設け、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応する。	企画課
275	税務総務事業	税務総務費	50,676	現状のまま継続	・引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。	税務課
276	賦課徴収事業	賦課徴収費	45,764	見直しの上で実施	・引き続き、各種調査を一層強化し滞納処分を実施する。 ・収納率の向上を図るため、コンビニ収納を実施する。	税務課
277	臨時職員対策事業	臨時職員対策事業費	48,057	現状のまま継続	・引き続き、行政運営を円滑、効率的に進めるため、必要に応じて臨時職員を任用する。	総務課
278	人事管理事業	人事管理費	5,295	現状のまま継続	・引き続き、効率的な行政運営に資するため、適正な定員管理を行う。 ・採用試験の実施について、より効率的に実施する。 ・マイナンバー制度導入により、給与・共済関係事務において、個人番号の記載項目が追加された書類が増えた。引き続き、職員等の個人番号の取扱いに厳格な注意が必要である。	総務課

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
279	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	3,466	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する。 ・事業主によるメンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」の実施が平成27年12月から義務化されたため、「ストレスチェック」の実施に伴う静岡県市町村職員共済組合からの助成(一人1,000円)が廃止され、平成28年度から事業主独自の「ストレスチェック」の実施を行っている。メンタルの不調者を出さないためにも、助成廃止後も継続して取り組む必要がある。 	総務課
280	職員研修事業	職員研修事業費	3,332	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権に伴う自立的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き職員研修を実施する。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野2 高度情報化

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
281	情報化推進事業	情報化推進費	35,501	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの有効活用により事務の効率化や行政サービスの向上を図るため、引き続き見直しを行い、より効率的な事務処理に必要な環境整備を図る。 ・マイナンバー制度による情報連携を適切に実施していくため、安全かつ確実にセキュリティの強化を図る。 	総務課
		情報化推進費 (繰越明許)	14,710			

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野3 情報公開

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
282	情報公開制度 推進事業	情報公開制度推進費	3,125	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野4 広報・広聴

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
283	広報・広聴事業	広報・広聴事業費	7,169	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、わかりやすく見やすい広報紙の作成に心がける。 町内のコンビニや図書館などの公共施設及び金融機関に配架を依頼し、隣組に属さない町民にも情報が届くように努める。 町民への説明責任を果たすとともに、町政に対するニーズを的確に把握し各種施策に反映させるため、引き続き、どこでも訪問しますDAY、町政報告会等の広聴事業を実施する。 町民にとって分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページの管理運用業務のあり方を検討する。 広報誌やホームページ、情報発信アプリケーションといった情報発信媒体について、発信者受信者双方が利用しやすいよう、連携のあり方を検討する。 	総務課
		ホームページ運営事業費	1,080			

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野5 住民参画

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度 の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
284	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	318	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 町政に対する関心や参画意識を高めるため、引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。 	総務課
285	住民参画推進事業	住民参画推進事業費	2	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 住民参画がさらに図られるよう、当町に合った住民参画手法等の検討・導入が必要である。 	企画課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野6 男女共同参画・人権尊重

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
286	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	3,032	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現に向け、女性の意見を町政により一層反映させるための仕組みの構築について検討していく必要がある。 吉田町男女共同参画プラン検討委員会等を開催し、プランの評価及び進捗管理を実施していく予定である。 既存の取組に加え、さらに啓発の方法について検討する。 	企画課
287	地域福祉推進事業(人権啓発事業)	人権・地域改善費	172	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発事業を通じて、地域住民が正しい理解と認識を深めるため今後も啓発をしていく必要がある。 	福祉課
		神戸西会館運営費	6,360			
288	人権教育事業	人権教育事業費	168	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、人権問題に対する正しい理解と解決に向けて、講演会の開催や担当職員の研修会等への参加を継続し、人権意識の高揚と職員の資質向上を図る。 	生涯学習課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野7 ユニバーサルデザイン

No.	実施計画事業名	平成28年度の予算事業		平成30年度の方向性	判断理由	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
289	ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザイン推進費	—	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、事業を実施する。 「誰もが暮らしやすいまち」づくりに向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、一体となってユニバーサルデザインを推進する体制を整備する。 	企画課